

「事業名：外国語教育、環境教育を活用した『持続可能なまちづくり』創造事業」 2023年度補助事業の実績・成果

事業のポイント

本学と田村市との間で継続的な連携関係を構築し、これまで大学が培ってきた「外国語教育」「環境教育」に関する資源やノウハウを活かした事業を展開し、情報発信と「環境に配慮した持続可能なまちづくり」の仕組みを構築し、それを相双地域の他の浜通り市町村に展開していく。

今年度の活動実績

- ・田村市教育委員会と協働して、連続講座「子ども未来講座」全6回を開講。市内の児童を募集し、英語で田村市についてプレゼンテーションすることを目指した。船引高校提供のドローン空撮映像を交えた動画も制作した。
- ・「第4期田村市地球温暖化対策実行計画」の施策展開に協力し、田村市役所職員研修「脱炭素社会について考える」において学生が報告した。
- ・船引小学校、船引南小学校の「総合的な学習の時間」において、環境教育・SDGs教育を実施。
- ・『たむら市政だより』9月号から、地球温暖化対策の連載コラム「ちよこつと、エコライフ～身近な省エネを実践しよう！～」を学生が執筆している。また本学ホームページの解説ページへもリンクさせて、詳細な説明を提供。
- ・田村市国際交流協会事業の国際交流イベント「ハートtoハートin田村2023」の開催に、本学の学生・留学生が参加し、円滑な運営に向けて協力した。
- ・地域の担い手になると期待される農家や企業を訪問調査を行ったり、若手農業従事者グループ「Agri Creator's ∞ Tamura(アグリクリエイターズたむら)」のマルシェ開催や、草加市ふささら祭り、本学学園祭での物産展出店に協力した。
- ・田村市観光情報サイトの多言語化プロジェクトは、前年度のドイツ語、タイ語に加えて、英語、スペイン語、中国語が提出を完了し、トルコ語は提出間近となった。



第3回「子ども未来講座」では、大学生スタッフがプレゼンテーション資料の作り方を指導



田村市役所研修「脱炭素社会について考える」で職員に向けて報告する学生

今年度の成果

- ・連続講座「子ども未来講座」では、子どもたちの地域発見、伝えたいことを英語にする体験のみならず、本学学生・留学生も交流を通じて刺激を受け、双方の人材育成に寄与する取り組みとなった。
- ・田村市役所職員研修では、学生が職員に田村市が脱炭素を目指す意義とメリットを伝えることで、脱炭素社会実現に向けた職員のモチベーションを高めることができたのではないかと考えている。
- ・国際交流イベントでは、参加した住民、田村市在住の外国人と、本学学生・留学生が交流することができた。
- ・全体として、田村市職員、地域の小学校の教員、地域の農業関係者との信頼関係を深めることができた。



船引小学校6年生に向けて学生が環境教育・SDGs教育「SDGsって何？」を実施